

(R2. 9. 29～30)

朝日山地パトロール

朝日山地では、平成23年9月からマツノクロホシハバチによる大朝日岳周辺のハイマツで被害が目立ちはじめました。過去には北海道でキタゴヨウの大規模な枯死被害が発生したこともあるため、朝日庄内森林生態系保全センターでは経過を見守りつつ必要な場合は捕殺を行うこととしております。

今年度は9月29日～30日にかけて、大朝日岳周辺において当センター職員3名により、食害調査と駆除作業を行いました。昨年より実施時期が1週間遅いですが、今年度は被害の発生初期に相当すると推定され、顕著な被害は見られませんでした。

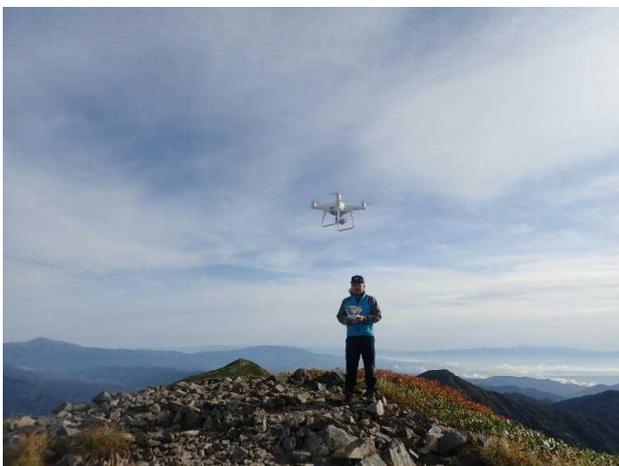


食害するマツノクロホシハバチ



食害されたハイマツ

また、普通はなかなか立ち入ることのできないハイマツ帯の中(歩道外)や急傾斜地の状況を把握するため、今年度の調査では試験的にドローンを使用してみました。今後も有効な活用方法について検討をしていきたいと思っております。



ドローン撮影



ドローン撮影(被害箇所確認)

なお、今年はパトロールの密かな楽しみにしていた紅葉が遅れているようで、ご覧のようにまだ葉が十分に色づいてはいませんでした。

しかし、天気に恵まれ、美しい黄昏どきに逢うことができたのは幸せなことでした。



小朝日岳付近から望む大朝日岳



黄昏どきの大朝日小屋から